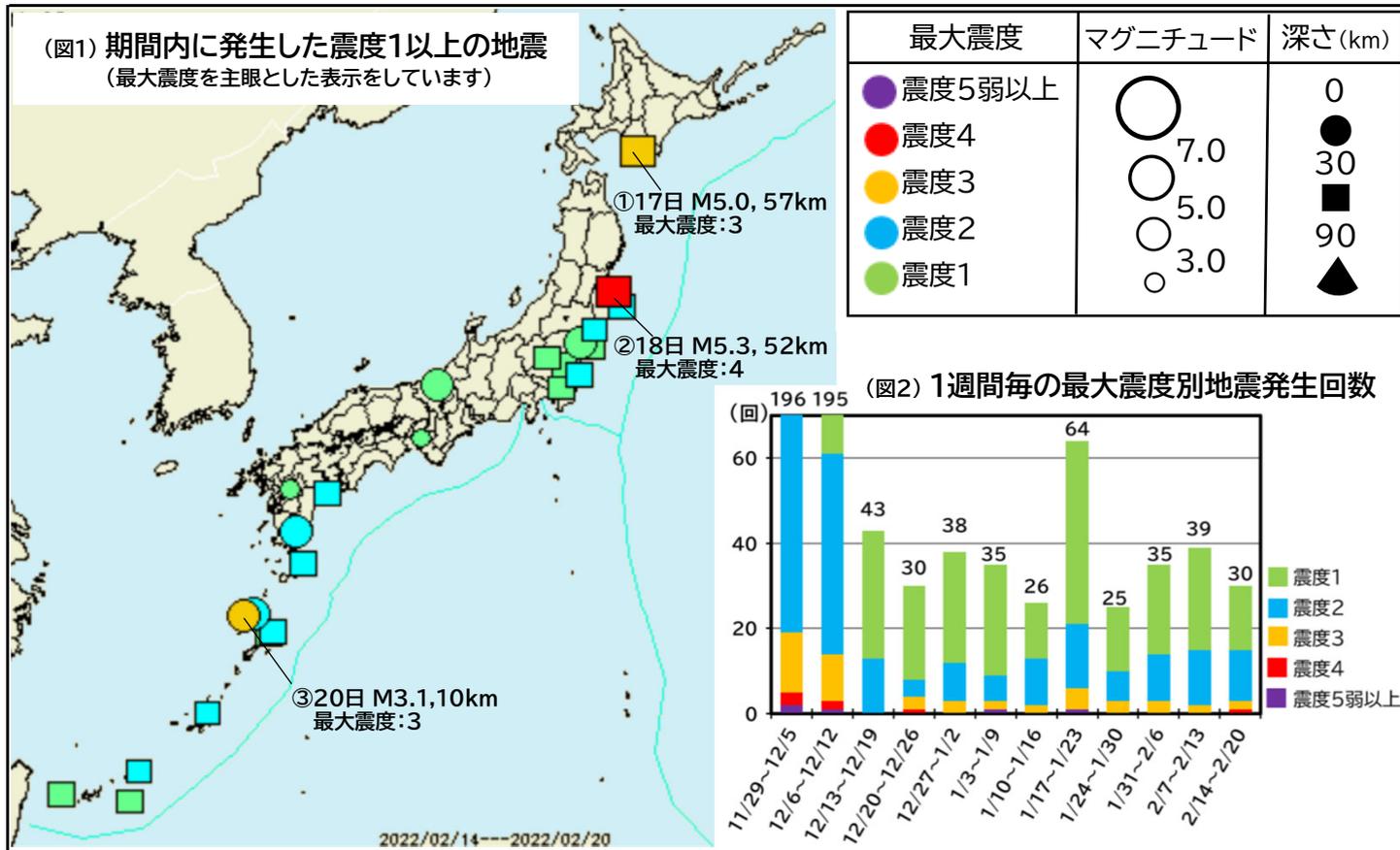


この期間の最大震度は4(宮城県沖の地震)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が30回発生。最大震度は4(宮城県沖の地震)。
- ①17日18時17分に浦河沖で発生した地震(M5.0、深さ57km)により、北海道函館市、厚真町、新冠町、新ひだか町、浦河町及び青森県東通村で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2~1を観測した。
- ②18日11時55分に宮城県沖で発生した地震(M5.3、深さ52km)により、宮城県石巻市、大崎市、涌谷町、松島町で震度4を観測したほか、青森県から埼玉県及び新潟県にかけて震度3~1を観測(トピックス参照)。
- ③20日11時30分にトカラ列島近海で発生した地震(M3.1、深さ10km:速報値)により鹿児島県十島村小宝島で震度3、悪石島で震度1を観測、同日に震度1以上が6回発生した。この付近では2021年12月から地震活動が活発になっている。これまで最大震度を観測した多くは悪石島だが、今回最大震度を観測したのは小宝島であり、このことは、これまでの震源は悪石島近辺だったが、今回は小宝島に近い所に震源が変わっていることを意味しているものと推測される。

トピックス

■ 宮城県沖の地震活動 ■

- ・2月18日に最大震度4を観測した地震は、東日本大震災が発生した震源域の西端で発生したもので、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型(図3参照)。
- ・この付近(黄色四角内)は東日本大震災以降地震活動が活発になり、M5.0以上の地震も度々発生している(図4参照)。
- ・この付近で最近発生した大きな地震は2021(R3)年5月1日に発生したM6.8の地震(最大震度5強)。この地震により負傷者4人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。
- ・1919年以降の活動をみると、宮城県沖では東日本大震災のほか、1978(S53)年6月12日には宮城県沖地震(M7.4、最大震度5)が発生するなど、M7.0以上の地震がしばしば発生している地震活動が活発な領域。

